熊本大学泌尿器科専門研修プログラム

プログラムの概要・特徴と研修の目標について

- 熊本県では唯一の泌尿器科専門研修プログラムであり、熊本大学病院を基幹施設とし、熊本県全域の 14 施設（診療拠点病院 9 施設、地域中核病院 5 施設）及び兵庫医科大学病院とその関連 1 施設、宮崎大学医学部附属病院とその関連 1 施設の計 18 施設から構成されています。
- 泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるように配慮しています。
- 募集専攻医数 8 名

研修の方略・評価について

- 泌尿器科専門医は、4 年間の研修で育成されます。
- 4 年間のうち 1～2 年間を熊本大学病院（基幹施設）で研修を行い、それ以外の 2～3 年間を研修連携施設で研修を行います。
- 原則として、初年度または 2 年目の 1 年間を熊本大学病院（基幹施設）で研修を行います。
- 熊本大学医学部地域枠を卒業された方を対象とした地域医療枠コースも設定しています。

(1) 大学院進学コース

専門医取得　学位取得（最短）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			専門研修プログラム							
卒業後	初期臨床研修（義務2年）		大学病院	大学病院、または連携病院		大学院				
勤務先	初期臨床研修（義務2年）		大学病院	大学病院、または連携病院			大学院			

※ 専門研修 4 年次において大学院への入学が可能です。病棟や外来業務は従来と同様ですが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行います。本コースを選択した場合、卒後 6 年で専門医の取得が可能で、卒後 9 年で学位を取得することも可能です。

(2) 臨床修練コース

専門医取得

	1	2	3	4	5	6
			専門研修プログラム			
卒業後	初期臨床研修（義務2年）		大学病院	大学病院、または連携病院		
勤務先						

※ 研修の進み具合により 2 年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム管理委員会で決定することになります。卒後 6 年で専門医の取得が可能です。

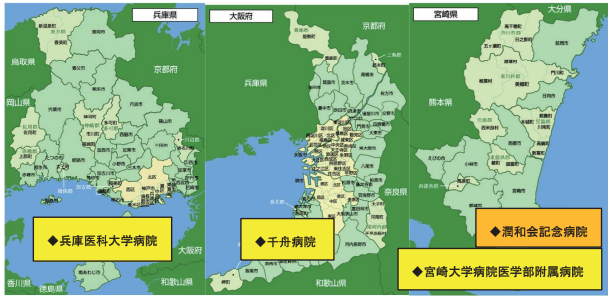
(3) 地域医療枠コース

専門医取得

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			専門研修プログラム							
卒業後	初期臨床研修（義務2年）		後期研修		地域の医療機関に勤務（基幹型臨床研修病院）		地域の医療機関に勤務（へき地医療拠点病院など）			
勤務先	大学病院or県内の基幹型臨床研修病院		大学病院		第１グループ		第2グループor第3グループ			

※ 大学卒業後の一定期間、知事が指定する医療機関に勤務する必要があります。修学資金を返還免除するのに最短で 9 年掛かりますが、泌尿器科専門医を取得するためには、4 年間大学病院あるいは基幹型臨床研修病院（第 1 グループ）に勤務する必要があり、現状のシステム上、1年間は義務年限に算入することができません。専門医取得後、さらに地域の医療機関（第 2 グループ、または第 3 グループ）に勤務する必要があり、返還免除となるには最短で 10 年掛かります。

※ 第 1 グループ：熊本労災病院、熊本総合病院、水俣市立総合医療センター、天草地域医療センター、くまもと県北病院など。
第 2 グループ：小国公立病院、公立多良木病院、上天草総合病院など。
第 3 グループ：宇城市民病院、済生会みすみ病院など。

※ 大学院への進学を希望する場合、その期間は義務年限に算入されません。

(4) 研修連携施設について